

2013年 2月1日 NO. 52



イルカ通信

隔月 1 回発行
バックナンバーは無料でダウンロードできます
(下記参照)

「ザトウクジラの来遊状況について」

OWAが毎年12月から翌年5月まで、ウェザーステーションから実施しているザトウクジラの定点観測。今回は12月1日から1月31日までのザトウクジラ来遊状況をお伝えしようと思います。まずは下のグラフをご覧ください。



ザトウクジラの平均発見頭数の推移

このグラフは、これまでのザトウクジラの平均発見頭数を半月ごとに示したものです。今シーズンは、12月後半まで例年通り発見が少ない状況でしたが、1月に入ると、発見頭数が急激に増加しました。1月前半の平均値は約8頭で、過去2年間の中で最も多い結果となりました。今シーズンの来遊は、いつもより少し早いのかもかもしれません。もしかしたら、小笠原へやって来るザトウクジラの数が増えている可能性も考えられます。これからも観測を続けていくことで、少しずつ明らかにしていきたいと思います。

最後になりますが、ホエールウォッチングを安全に、そして安心して楽しむためにも、今後とも自主ルールの遵守にご協力よろしくお願いいたします。また船舶で航行する際には、鯨類の噴気に注意するだけでなく、航行速度などにも注意し、衝突などの事故が起きないようにご注意ください。

「鯨類目視調査の結果報告」

小笠原の近海ではこれまでに、約20種類の鯨類が確認されています。先ほどもザトウクジラの定点観測の速報をお伝えしました。

しかし、この場所から観察できる範囲は西側に限られているため、東側の発見記録は西側ほど多くはありません。

そこでOWAでは、島の両側海域を同時に船で探索し、父島周辺海域に来遊する鯨類、特にザトウクジラの分布や来遊頭数を調べるための目視調査を1月30日に実施しました。

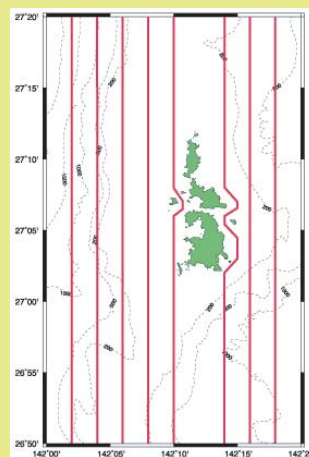


図. 調査コース図

同様の調査は1997年にも行われているので、今回の調査ではザトウクジラの発見頭数や分布域などについて、過去の調査結果との比較を目的としています。今回の調査結果は次の通りです。

- ・ ザトウクジラ45群63頭
- ・ ザトウクジラらしい鯨類10群13頭
- ・ アカボウクジラ1群1頭
- ・ 種不明大型鯨類2群2頭

1日の調査でザトウクジラをこれだけ確認できたのは、一番の収穫でした。この集計は重複発見を含んでいます。詳細な解析はこれから行いますので、これからの解析結果にご期待下さい。

陸上観察会開催のお知らせ

2月から4月までの「おがさわら丸入港日」に陸上観察会を開催します。皆さん、一緒にクジラを探しませんか？

時間 :16時から17時まで

場所 :三日月山展望台

参加無料

※天候・海況不良や視界が悪い場合は実施いたしません。